

公益財団法人 埼玉県住宅センター

平成 28 年度 事業計画

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

1, 住宅講演会事業について

県内の建設技術者の知識・技術の向上を図り、県民に良好な住宅、法令を順守した安全・安心な住宅が提供されることを目的として講演会や学習会を実施します。

2, 増改築相談員研修会事業について

住宅建築市場では良質な住宅ストックをつくり、長く活用していくということが時代の要請となっています。そこで建設技術者の知識・技術の向上を図り、住宅をリフォームすることを考えている県民からの相談に誠実に対応し、必要に応じて積極的に助言などを行い、住宅の品質を高めるとともに、県民の利益の保護及び増進を図ることを目的として公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センターが認定する「増改築相談員」資格の取得を促進し、増改築相談員研修会を実施します。

3, ホルムアルデヒド濃度測定事業について

新築住宅について、シックハウス症候群の原因のひとつといわれ、平成 15 年 7 月 1 日より建築基準法で規制対象化学物質となったホルムアルデヒドの室内濃度の測定を推進することで、県民のシックハウスに対する意識の向上を図るとともに、安全・安心な住宅が提供されることを目的として、ホルムアルデヒド濃度測定事業を実施します。

また、ホルムアルデヒド以外で人体に有害とされる揮発性有機化合物VOC（トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、スチレン、エチルベンゼン）についても測定をします。

4, 道具資料館について

道具資料館にて、建設関係各職種の方々が地域の風土や歴史の中で受け継いできた、次第に消えゆく古い時代の伝統技能・技術・道具や資料などを収集・保存し、木造建築文化の伝承・発展と県民への普及・啓発のため、研究・展示を行います。

5, 住宅デー事業について

木造軸組工法に携わる建設技術者が地域住民に対して無料住宅相談や木工工作広場等を実施し、木造軸組工法による優良な住宅の普及・促進および維持・管理の重要性についての認識を広めることを目的として住宅デー事業を実施します。

6、無料職業紹介事業について

地域の建設事業者に建築業求職者を紹介することで地域住民の建設ニーズに対応する人材を確保すると共に、県内の建築業求職者に対して就職先を紹介することでその生活の安定を図り、地域経済の健全な発展に資することを目的として無料職業紹介事業を実施します。

7、住宅相談事業について

県民からの住宅に関する諸問題の相談や、県内中小住宅従事者からの住宅に関する相談に対応していきます。また、建築関連の法律や制度に関する情報について、県、建設埼玉等の各団体と連携し周知していきます。

上記住宅相談事業の内容充実を図るため必要書籍の購入等、情報収集を図っていきます。

8、住宅瑕疵担保責任保険事業について

住宅瑕疵担保履行法に県内の中小住宅建築従事者が適切に対応するため、建設埼玉、全建総連、住宅保証機構（株）（以下、機構）と連携し、機構が運用する法律に対応した住宅瑕疵担保責任保険「まもりすまい保険」が保険料割引で適用される全建総連が推進する高耐久・高品質な木造住宅「ゆうゆう住宅」の利用促進を図ります。また、事務取扱を実施します。

9、優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）について

優秀な建設技術者で後進の指導育成に貢献をしている方を国土交通大臣が顕彰する「優秀施工者国土交通大臣顕彰」について優秀な建設技術者の推薦を行っていきます。

収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---------------------|------------------|------------------|------------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 事業収益 | 3,624,000 | 3,820,000 | △ 196,000 |
| 増改築相談員研修会参加費収益 | 924,000 | 1,120,000 | △ 196,000 |
| ホルムアルデヒド等濃度測定事業収益 | 800,000 | 800,000 | |
| 住宅瑕疵担保保険事業収益 | 1,900,000 | 1,900,000 | |
| 受取補助金等 | 660,000 | 660,000 | |
| 受取補助金 | 660,000 | 660,000 | |
| 受取寄付金 | 4,000,000 | 4,000,000 | |
| 受取寄付金 | 1,300,000 | 1,300,000 | |
| 受取寄付金振替高 | 2,700,000 | 2,700,000 | |
| 雑収益 | 3,000 | 1,500 | 1,500 |
| 受取利息 | 1,500 | 1,500 | |
| その他 | 1,500 | | 1,500 |
| 経常収益計 | 8,287,000 | 8,481,500 | △ 194,500 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 7,515,093 | 7,830,185 | △ 315,092 |
| 給料手当 | 3,198,000 | 3,217,680 | △ 19,680 |
| 法定福利費 | 574,000 | 574,000 | |
| 旅費交通費 | 221,644 | 268,644 | △ 47,000 |
| 消耗品費 | 55,000 | 61,000 | △ 6,000 |
| 地代家賃 | 240,000 | 240,000 | |
| 減価償却費 | 2,549 | 2,549 | |
| 通信費 | 199,400 | 234,400 | △ 35,000 |
| 支払手数料 | 39,800 | 52,800 | △ 13,000 |
| 広告宣伝費 | 130,000 | 130,000 | |
| 会議費 | 40,000 | 40,000 | |
| 賃借料 | 242,700 | 316,112 | △ 73,412 |
| 諸謝金 | 265,000 | 300,000 | △ 35,000 |
| 委託費 | 2,040,000 | 2,146,000 | △ 106,000 |
| 印刷製本費 | 60,000 | 50,000 | 10,000 |
| 新聞図書費 | 60,000 | 50,000 | 10,000 |
| 支払負担金 | 147,000 | 147,000 | |
| 管理費 | 1,311,917 | 1,431,285 | △ 119,368 |
| 役員報酬 | 170,000 | 220,000 | △ 50,000 |
| 給料手当 | 702,000 | 706,320 | △ 4,320 |
| 法定福利費 | 126,000 | 126,000 | |
| 旅費交通費 | 62,776 | 77,776 | △ 15,000 |
| 消耗品費 | 50,000 | 50,000 | |
| 租税公課 | 5,000 | 4,000 | 1,000 |
| 減価償却費 | 13,041 | 13,041 | |
| 通信費 | 31,600 | 26,600 | 5,000 |
| 支払手数料 | 33,200 | 23,000 | 10,200 |
| 交際費 | 30,000 | 20,000 | 10,000 |
| 会議費 | 50,000 | 20,000 | 30,000 |
| 賃借料 | 18,300 | 16,548 | 1,752 |
| 委託費 | | 108,000 | △ 108,000 |
| 備品費 | 20,000 | 20,000 | |
| 経常費用計 | 8,827,010 | 9,261,470 | △ 434,460 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △ 540,010 | △ 779,970 | 239,960 |
| 基本財産評価損益等 | | | |
| 特定資産評価損益等 | | | |
| 投資有価証券評価損益等 | | | |

| | | | |
|---------------|-----------|-----------|-----------|
| 評価損益等計 | | | |
| 当期経常増減額 | △ 540,010 | △ 779,970 | 239,960 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| 当期経常外増減額 | | | |
| 他会計振替額 | | | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 540,010 | △ 779,970 | 239,960 |
| 一般正味財産期首残高 | 4,180,538 | 4,532,323 | △ 351,785 |
| 一般正味財産期末残高 | 3,640,528 | 3,752,353 | △ 111,825 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 指定正味財産期末残高 | | | |
| III 正味財産期末残高 | 3,640,528 | 3,752,353 | △ 111,825 |